

平成ジャンプ世代の「婚活本音調査」-Vol.1-
平成ジャンプ世代が挑む令和時代の婚活

キーワードは「パーソナル」

～成婚へのカギは、二人三脚で臨む“伴走婚活”にあり～

結婚に対する焦りやプレッシャー、婚活ストレスを解消する鍵に！？
平成ジャンプ世代の多くが「パーソナル婚活」を支持！

株式会社エウレカ（本社：東京都港区、代表取締役CEO：石橋 準也）が展開する結婚コンシェルジュサービス「Pairsエンゲージ」では、この度、秋の結婚式シーズン到来を機に、ニッセイ基礎研究所監修の元、“平成ジャンプ世代”（※1）である全国の未婚男女30～39歳を対象に、「婚活（※2）の本音」をテーマとしたインターネット調査を実施しました。尚、本調査結果を元に、2019年10月11日（金）より開設するWEBサイト「パーソナル婚活研究所」を通じて調査結果を公開、新しい時代の婚活について情報を発信していきます。

■「パーソナル婚活研究所」サイトURL：www.pasokon-lab.com

（※1）昭和生まれの方で、未婚のまま平成の時代を飛び越え、新元号（令和）時代を迎えた方を指します。

（※2）本調査における「婚活」とは、結婚相談所やマッチングサービスへの登録、お見合い、合コンや知人からの紹介など、結婚・交際相手を見つけるための活動を指しています。

【調査結果サマリー】

TOPICS

1

■平成ジャンプ世代の結婚に対する考え方

- 平成ジャンプ世代の男女共に約8割は結婚意向あり。
- 当世代は結婚をして幸せな生活を送る周囲を見て、プレッシャーや焦りを感じている傾向が。
- 今回の調査でも「自分自身の結婚に対するプレッシャー」を感じるという意見が上位に。

TOPICS

2

■「非婚活実施者」の結婚への意向

- 結婚へのプレッシャーや焦りを感じるも、約8割は「婚活」へは取り組めていない。
- 「婚活」に取り組めない具体的な理由はなく、不明瞭な人が多数派に。
- 最後の交際から5年以上の期間が経過している交際ブランクを持つ人も4割以上に。

TOPICS

3

■「婚活実施者」の婚活事情

- 婚活実施者の約8割は「婚活ストレス」を感じている。
- 婚活実施者が感じる「婚活ストレス」の解消法としては、「誰かに相談したりアドバイスを仰ぐ」という回答が最多数。一人で婚活に悩むよりも、周囲の人に相談したり協力を得たいというニーズが明らかに。

TOPICS

4

■平成ジャンプ世代が抱く「パーソナル婚活」への魅力

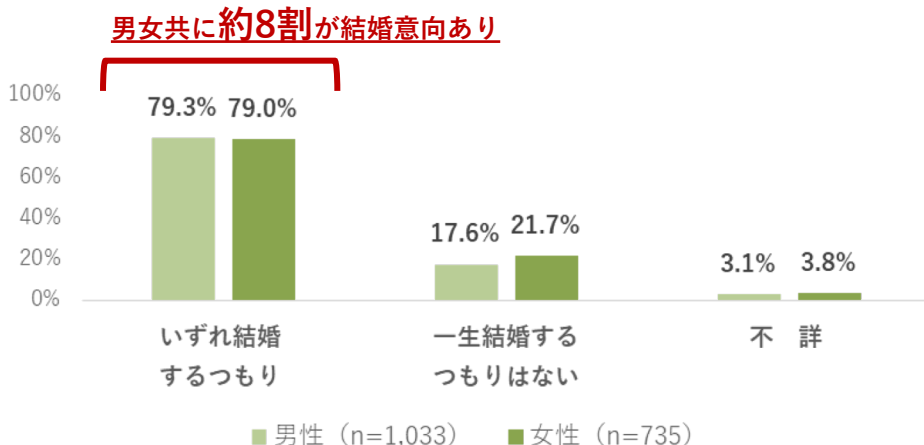
- 自分の「婚活」を共に伴走、サポートしてくれる“パーソナル婚活”を支持！
- 自分のニーズに合わせた婚活サポートにより、非婚活実施者が婚活に取り組めていない「漠然とした理由」や「婚活ストレス」の解消法に!?

■平成ジャンプ世代の結婚に対する考え方

- 平成ジャンプ世代の男女共に約8割は結婚意向あり。
- 当世代は結婚をして幸せな生活を送る周囲を見て、プレッシャーや焦りを感じている傾向が。
- 今回の調査でも「自分自身の結婚に対するプレッシャー」を感じるという意見が上位に。

Q.あなたの結婚に対する意向について教えてください。

(n=結婚していない30代男女1,768名/SA)



Q.どのような時に結婚を強く意識しますか？

(n=結婚していない30代男女411名/MA)

	どのような時に結婚を意識するか
第1位	周りの友人・知人が次々と結婚や出産をする (30代男性：56.7%/30代女性：73.9%)
第2位	友人の幸せな結婚や家庭の様子を感じる (30代男性：38.5%/30代女性：58.3%)
第3位	周囲から幸せな結婚の話を聞く (30代男性：26.4%/30代女性：47.2%)
第4位	親や家族から結婚するよう言われる (30代男性：38.1%/30代女性：36.1%)

Q.あなたは、非婚活時と婚活中で、どのようなことにストレスを感じましたか。

(n=婚活に取り組んでいる男女203名/MA)

	非婚活時	婚活中
第1位	自分自身の結婚に対するプレッシャー (53.7%)	良い相手と出会えない (53.9%)
第2位	良い相手と出会えなさそう (52.2%)	自分自身の結婚に対するプレッシャー (51.7%)
第3位	自分にあった人がわからない (41.9%)	お金がかかる (48.9%)

国立社会保障人口問題研究所が実施した調査（出生動向基本調査：平成27年度）によると、未婚の30代の男女共に約8割（男性：79.3%・女性：79.0%）が結婚意向を示し、「結婚」に対する希望度が高いことがうかがえます。

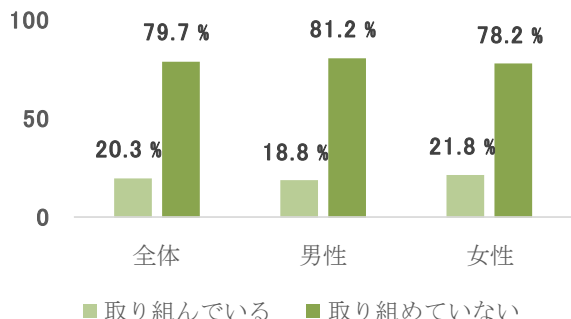
また、内閣府の調査（結婚・家族形成に関する意識調査：平成26年度）において、未婚の30代の男女が結婚を強く意識するタイミングをうかがったところ、TOP3が男女で同じ結果となり「周りの友人・知人が次々と結婚や出産をする」が最も多くなり、次いで、「友人の幸せな結婚や家庭の様子を感じる」、「周囲から幸せな結婚の話を聞く」というランキングに。その他、「親や家族から結婚するよう言われる」といった回答もありました。家族からのプレッシャーや、周りの人たちが結婚や出産をしていくという状況に対する焦りやプレッシャーを感じている様子が見られます。実際に今回行った平成ジャンプ世代への調査でも、非婚活時、婚活中ともに「自分自身の結婚に対するプレッシャー」を感じたという意見が上位にあがっています。

■「非婚活実施者」の結婚への意向

- 結婚へのプレッシャーや焦りを感じるも、約8割は「婚活」へは取り組めていない。
- 「婚活」に取り組めない具体的な理由はなく、不明瞭な人が多数派に。
- 最後の交際から5年以上の期間が経過している交際ブランクを持つ人も4割以上に。

Q.あなたは「婚活」に取り組んでいますか？

(n=1,000/SA)



Q.積極的に「婚活」に

取り組めていない理由は何ですか？

(n=婚活に取り組めていない男女797名/MA)

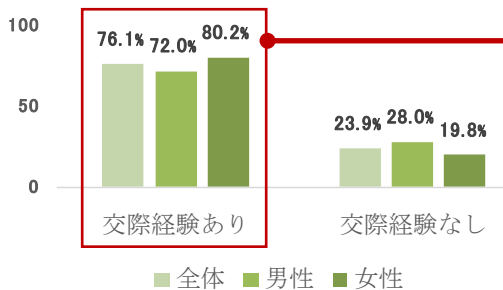
「面倒」や「分からない」など漠然とした理由が上位に

	理由	回答率
第1位	なんとなく面倒	47.1%
第2位	どう始めていいのかわからない	40.7%
第3位	費用がない	37.0%
第4位	時間がない	28.0%
第5位	他人にどう思われるかが不安	19.1%

平成ジャンプ世代の多くの人が結婚を希望し、なおかつプレッシャーや焦りを感じているにも関わらず、実際に「婚活」に取り組んでいる層は2割（20.3%）に留まり、約8割（79.7%）は「婚活」に取り組めていない事が分かりました。その理由をたずねると、「なんとなく面倒」「どうしても良いか分からない」という、具体的な理由ではなく漠然としたイメージから婚活に取り組めていないというものが多数に。結婚へのプレッシャーや焦りを感じるも「婚活」には取り組めず、またその理由も明確になっていない人が多いことが分かりました。

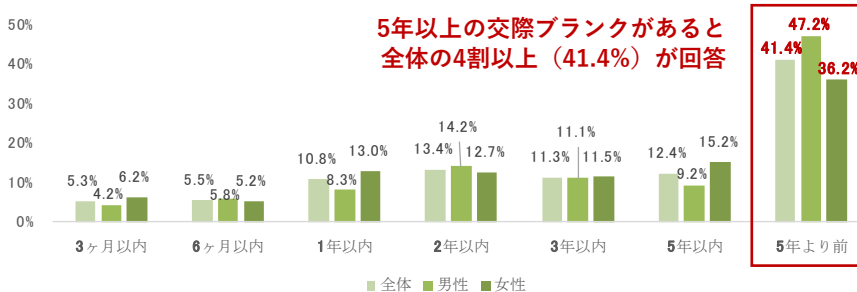
Q.あなたの過去の異性との交際経験について教えてください。

(n=1,000/SA)



Q.あなたは最近のいつ頃まで、異性の方と交際していましたか？

(n=過去に交際経験ありと回答した男女761名/SA)



当該年代においては、約8割が「結婚」への意向を示したにも関わらず、漠然とした理由から「婚活」に取り組めていない人が多数派となることが分かりました。続いて、交際経験のある方へ最後に異性と交際していた時期をたずねると、5年以上の交際のブランクがあると4割以上（41.4%）が回答する結果となり、具体的なアクションをなかなか講じられていないことがうかがえます。

Q.あなたが「婚活」に関連するサービスに対して、どのようなことを望みますか？

(n=1,000/MA)

	理由	回答率
第1位	利用料金が低い	50.2%
第2位	自分が望む条件の相手を見つけやすい	46.1%
第3位	適切なサポートが受けられる	39.3%
第4位	多くの相手と出会える	39.2%
第5位	利用にかかる時間や手間が少ない	32.1%

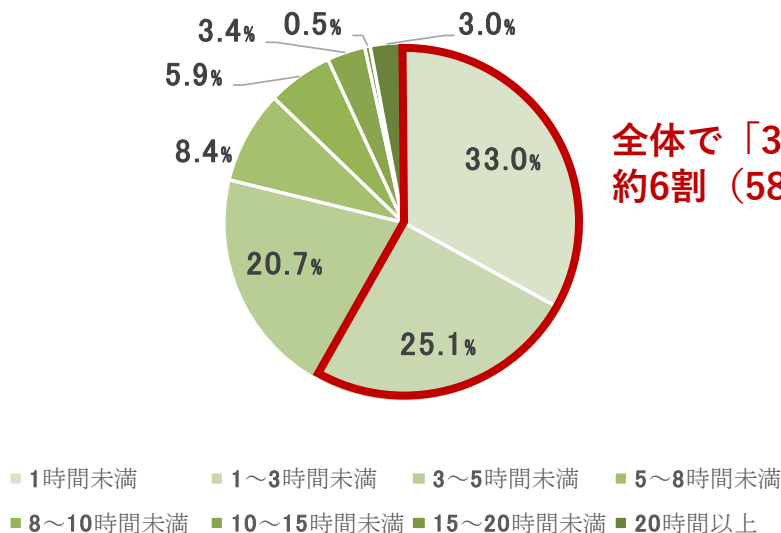
「婚活」に関連するサービスへの望みを調査すると、「利用料金が低い（50.2%）」が第1位となり、次いで、「自分が望む条件の相手を見つけやすい（46.1%）」、「適切なサポートが受けられる（39.3%）」という結果に。サービスの利用料金の設定額が、利用意向にも影響していることがうかがえます。

■「婚活実施者」の婚活事情 (1/2)

- 「婚活」に費やす時間は、1週間のうち「3時間未満」が多数派に。
- 婚活実施者の約8割は「婚活ストレス」を感じている。

Q.一週間のうち、「婚活」にどのくらいの時間をかけていますか？

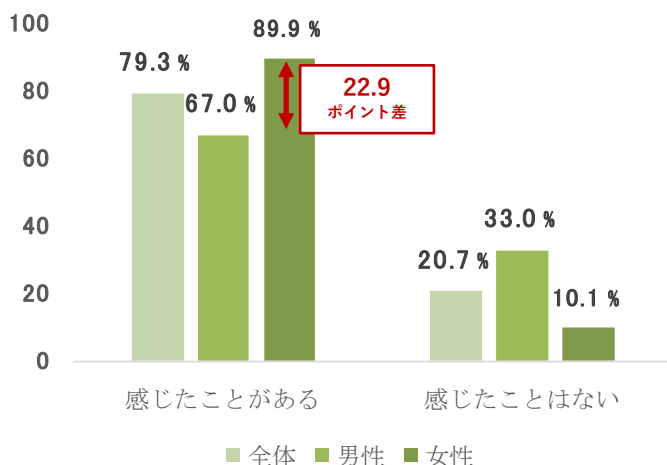
(n=婚活に取り組んでいる男女203名/MA)



一週間のうち、「婚活」に取り組んでいる時間をたずねると、「1時間未満 (33.0%)」が最も多くなりました。全体で見ると、3時間未満までで半数以上となり約6割 (58.1%) を占める結果となりました。

Q.あなたは今まで「婚活」に関してストレスを感じたことがありますか。

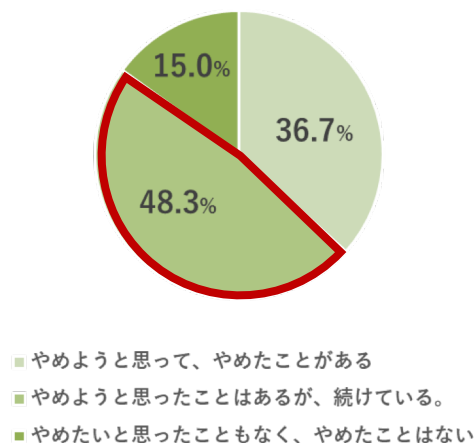
(n=婚活に取り組んでいる男女203名/MA)



Q.(婚活ストレスによって) 婚活をやめようと思ったことはありますか。

(n=婚活ストレスを感じた経験のある男女180名/MA)

やめようと思ったが婚活を継続した人が約半数 (n=153)



次に、「婚活」に関してストレスを感じた経験があるかを問うと、全体の約8割 (79.3%) が感じたことがあると回答。男女で比較すると、男性が67.0%に対し、女性は89.9%となり、女性の方が「婚活」へのストレスを感じやすいことが分かります。また、「実際に婚活をやめようと思ったか？」とたずねると、85.0%の人はやめようと思ったことがありつつも、実際にはやめずに婚活を継続した人が約半数 (48.3%) となりました。

■「婚活実施者」の婚活事情について（2/2）

●婚活実施者が感じる「婚活ストレス」の解消法としては、「誰かに相談したりアドバイスを仰ぐ」という回答が最多数。一人で婚活に悩むよりも、周囲の人に相談したり協力を得たいというニーズが明らかに。

Q.婚活でストレスを感じたときに、
それを解消する対処法は何かありますか。

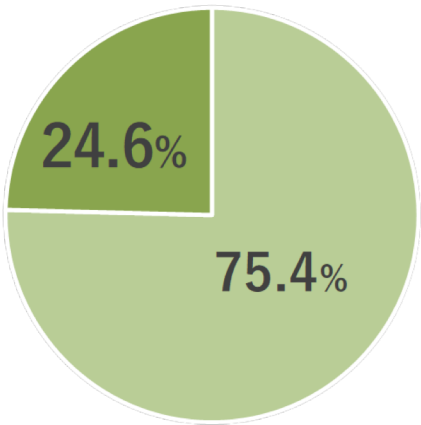
（n=婚活をやめた、やめようと思ったことがある男女153名／MA）

	婚活ストレスを解消する対処法	回答率
第1位	新しい人に会う	28.8%
第2位	家族・友人に話して共感してもらう	24.8%
第3位	家族・友人以外の人にアドバイスをもらう	20.9%

続いて、「婚活ストレス」を感じたときの対処法について調査。対処法として、「新しい人に会う」、「家族・友人に話して共感してもらう」、「家族・友人以外の人にアドバイスをもらう」など、一人で婚活に臨んだり、抱え込もうとせず、他の誰かのサポートや協力を得ることでストレスを解消する方が多数となりました。

Q.婚活に悩んだ時、専門的な相談先が必要だと思いますか？

（n=1,000／SA）



■ 必要だと思う ■ 必要だと思わない

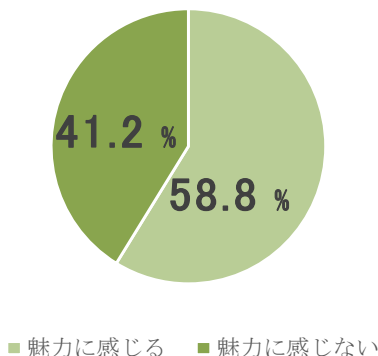
婚活実施者が感じる「婚活ストレス」の解消法の上位を見ると、誰かのサポートや協力を得るという傾向が見えてきました。そこで、周囲からの協力、サポートという点に関連し、昨今、「婚活」を行っている過程で不調になった人のための「婚活疲労外来」という専門機関も出てきています。このような専門的な相談の必要性を問うと、7割以上（75.4%）が必要と回答。ここでも、「婚活」の進行にあたり、このような専門機関をはじめとしたサポートが必要である様子が見えてきます。

■平成ジャンプ世代が抱く「パーソナル婚活」への魅力

●自分の「婚活」を共に伴走、サポートしてくれる“パーソナル婚活”を支持！

●自分のニーズに合わせた婚活サポートにより、
非婚活実施者が婚活に取り組めていない「漠然とした理由」や「婚活ストレス」の解消法に!?Q. 「パーソナル婚活」(※)に
あなたはどの程度魅力を感じますか。

(n=1,000/SA)

Q. 「パーソナル婚活」(※)のどのような点に
魅力を感じて利用したいと思いますか。

(n=1,000/SA)

「パーソナル婚活」の魅力について	
第1位	自分のニーズにあわせて相手を紹介してくれる (78.1%)
第2位	必要な時に、相談できる先がある (75.7%)
第3位	時間や場所を選ばず自由度が高い (74.9%)
第4位	パーソナルトレーナーのように、 一人一人にあったアドバイスが受けられる (68.7%)
第5位	短期間で結果を出す (61.4%)

続いて、昨今の潮流である「パーソナル婚活」について調査。約6割(58.8%)が「パーソナル婚活」へ魅力を感じていることが分かりました。その魅力の内容をたずねると、「自分のニーズにあわせて相手を紹介してくれる(78.1%)」が最も高くなり、自分の条件面に見合う相手を提案してくれる事に大きな魅力を感じていることが分かりました。加えて、「必要な時に相談できる」「一人一人にあったアドバイスが受けられる」など、婚活を一人で行うのではなく、サポーターや伴走者のような存在へのニーズがありました。また、「時間や場所を選ばない」「短期間」など、自分のライフスタイルや都合に合わせて欲しいというニーズもうかがえました。

「パーソナル婚活」は、一人一人に寄り添って相談やアドバイスを受けられるので、婚活に積極的に取り組めていない方の「なんとなく面倒」「どうすれば良いか分からない」という悩みや、婚活実施者の「婚活ストレス」を解消する鍵になりそうです。

(※) 近年増加している「婚活」ニーズにあわせてサポートサービスとして、一人一人のスタイルにあわせて必要な時に専門家のアドバイスがもらえる婚活スタイル(パーソナル婚活)を指します。

【調査概要】

調査クレジットのお願い

※本リリース内容の転載にあたりましては、出典として

「Pairsエンゲージ パーソナル婚活研究所調べ」という表記をお使い頂きますようお願い申し上げます。

・調査対象	未婚の男性・女性(年齢:30~39歳)
・調査エリア	全国
・調査サンプル数	男性500名・女性500名:合計1,000名
・調査期間	2019年9月21日(土)~23日(月)
・調査方法	インターネット調査

※本リリース内、一部調査においては「国立社会保障人口問題研究所」、
「内閣府」が実施したレポートを引用しております。